

7.2 騒音・振動

7.2.1 調査事項

調査事項は、表 7.2-1 に示すとおりである。

表 7.2-1(1) 調査事項（騒音・振動：工事の完了後）

区 分	調 査 事 項
予測した 事項	①駐車場利用車両の走行に伴う駐車場の騒音 ②関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動 ③設備の稼働に伴う騒音
予測条件の 状況	【駐車場利用車両の走行に関する予測条件】 ・ 駐車場利用車両の状況（種類、台数、走行速度等） 【関連車両の走行に関する予測条件】 ・ 道路の状況（幅員、車線数、舗装） ・ 関連車両の状況（種類、台数、時間帯、走行速度） ・ 自動車交通量の状況（種類、台数、時間帯、走行速度） 【設備の稼働に関する予測条件】 ・ 設備稼働の状況（種類、台数、位置等）

表 7.2-1(2) 調査事項（騒音・振動：工事の完了後）

区 分	調 査 事 項
環境保全のための措置の実施状況	<p>【駐車場利用車両の走行に対する環境保全のための措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場内の速度規制の遵守を徹底する。 ・西側のスロープの擁壁の高さを1.5mとし、東浅川小学校への騒音影響を低減する。 ・計画地北東側に遮音壁を設置し、北東側の住居への騒音影響を低減する。 <p>【関連車両の走行に対する環境保全のための措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入・搬出の物流車両の規制速度の遵守を徹底する。 ・車の出入りに関しては、左折イン、左折アウトを徹底するとともに、必要に応じて交通誘導員による適切な車両・歩行者の誘導を行い、周辺道路の渋滞を生じさせないよう配慮する。 ・市道浅川18号線（計画地東側）については、関連車両に徐行を徹底するよう促す。なお、路面への徐行を促すペイント等を実施する。 ・早朝、夜間の荷さばき車両については、市道浅川18号線（計画地東側）の利用を避け、南側出入口から入出庫する。 ・搬出入等物流車両の走行に当たっては、規制速度遵守の徹底や、周辺道路の混雑状況に配慮した運行計画を策定する。 ・来客者に対して、バス等の公共交通機関の利用を呼びかける。 ・従業員の通勤は原則、公共交通機関によるものとする。 ・来店車両の経路については、誘導看板の設置、チラシ等により、周知徹底する。 <p>【設備の稼働に対する環境保全のための措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の故障による異常音等がないよう、メンテナンスを行う。 <p>【工事の完了後のその他の環境保全のための措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場内での誘導路の確保により混雑の緩和及び渋滞の防止に配慮する。 ・苦情対応窓口を設け、きめ細やかな住民対応を行う。 ・登校時及び下校時の児童生徒の交通安全の確保に特に配慮する計画とし、当該道路が通学路であること、また、徐行を促す等の案内の掲示等により周知徹底し、生活道路への流入を防ぐ措置を講じる。 ・周辺道路の渋滞対策として、駐車場は基本的に有料化する計画とする。また、入庫時については、入口から駐車券発券機までの距離を確保し、できる限り計画地内で滞留台数を確保する。なお、万葉けやき通りの西側入口が渋滞する可能性がある場合には、東側の入口に誘導するなどの措置を講じる。 ・供用後は、より一層の交通安全対策を図ることを目的に地域コミュニティと連携し、交通安全を確保する。 ・来店車両が一部の道路に集中しないように、来店車両を分散できる交通計画を策定し、道路管理者、交通管理者等の関係機関と協議する。

7.2.2 調査地域

調査地域は、事業の実施により、騒音・振動の影響が及ぶと考えられる、計画地内及び計画地周辺とした。

7.2.3 調査手法

調査手法は、表 7.2-2 に示すとおりである。

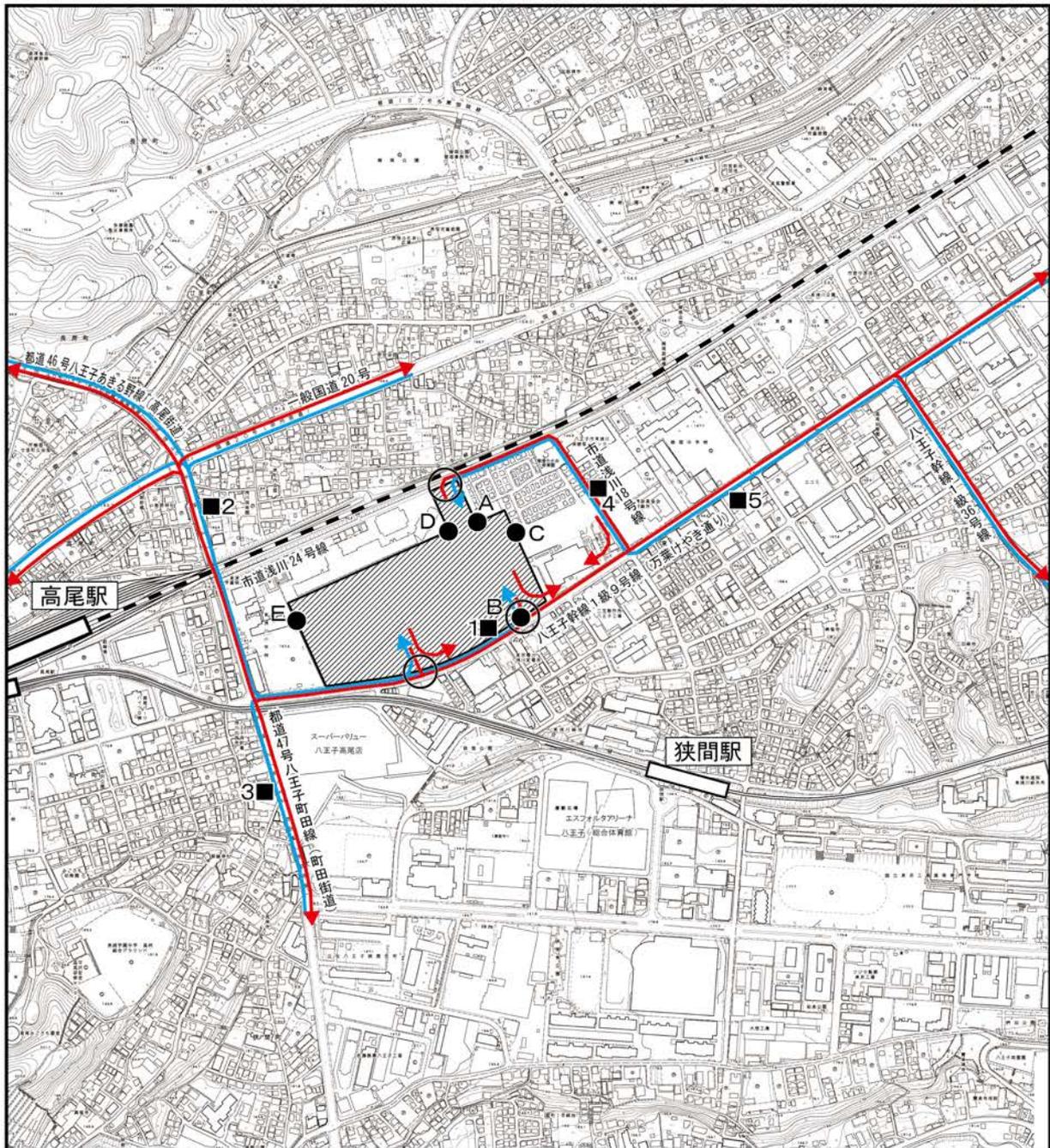
なお、設備の稼働に伴う騒音について基準超過があったため、運用面での対策を行い、追加調査を実施した。

表 7.2-2(1) 調査手法（騒音・振動：工事の完了後）

調査事項		①駐車場利用車両の走行に伴う駐車場の騒音	②関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動	③設備の稼働に伴う騒音
調査時点		施設の供用開始時点である平成29年度とした。		
調査期間	予測した事項	施設の供用開始時点の代表する平日・休日の各1日とした。 平日：平成29年11月27日（月）午前6時～11月28日（火）午前6時までの24時間 休日：平成29年11月25日（土）午後10時～11月26日（日）午後10時までの24時間 （設備の稼働に伴う騒音の追加調査） 平日：平成30年4月2日（月）午前6時～4月3日（火）午前6時までの24時間 休日：平成30年3月31日（土）午後10時～4月1日（日）午後10時までの24時間		
	予測条件の状況	【駐車場利用車両の状況】 「予測した事項」と同一期間とした。	【関連車両・自動車交通量・道路の状況】 「予測した事項」と同一期間とした。	【設備稼働の状況】 「予測した事項」と同一期間とした。
	環境保全のための措置の実施状況	供用開始後の適宜とした。		
調査地点	予測した事項	【騒音】 予測により求められた騒音レベルが最大となる敷地境界付近（No. A、B）及び保全対象（No. D（北側マンション）、E（東浅川小学校））とした（図7.2-1参照）。なお、保全対象については、影響が大きくなると想定される高さについても調査した。	【騒音・振動】 関連車両の走行ルート沿道の5地点（No. 1～5）とした（図7.2-1参照）。	【騒音】 予測により求められた騒音レベルが最大となる敷地境界付近（No. C）及び保全対象（No. D（北側マンション）、E（東浅川小学校））とした（図7.2-1参照）。なお、保全対象については、影響が大きくなると想定される高さについても調査した。
	予測条件の状況	【駐車場利用車両の状況】 関連車両の出入口3地点とした（図7.2-1参照）。	【関連車両の状況】 関連車両の出入口3地点とした（図7.2-1参照）。 【自動車交通量・道路の状況】 関連車両の走行ルート上の5地点（No. 1～5）とした（図7.2-1参照）。	【設備稼働の状況】 計画地内とした。
	環境保全のための措置の実施状況	計画地内及び計画地周辺とした。		

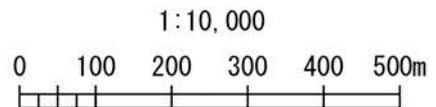
表 7.2-2(2) 調査手法（騒音・振動：工事の完了後）

調査事項		①駐車場利用車両の走行に伴う駐車場の騒音	②関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動	③設備の稼働に伴う騒音
調査手法	予測した事項	<p>【騒音】 「騒音に係る環境基準」（平成10年環境庁告示第64号）に定める測定方法とし、等価騒音レベル（L_{Aeq}）を測定した。</p>	<p>【騒音】 「騒音に係る環境基準」（平成10年環境庁告示第64号）に定める測定方法とし、等価騒音レベル（L_{Aeq}）を測定した。</p> <p>【振動】 「振動規制法施行規則」（昭和51年総理府令第58号）に定める測定方法とし、振動レベルの80%レンジの上端値（L_{10}）を測定した。</p>	<p>【騒音】 「騒音に係る環境基準」（平成10年環境庁告示第64号）及び「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」（昭和43年厚生省・農林省・通商産業省・運輸省告示第1号）に定める測定方法とし、等価騒音レベル（L_{Aeq}）及び騒音レベルの90%レンジの上端値（L_{A5}）を測定した。</p>
	予測条件の状況	<p>【駐車場利用車両の状況】 ハンドカウンターによる計測（大型車、小型車の2車種分類）及び関連資料（駐車場管理資料等）の整理による方法とした。</p>	<p>【関連車両の状況】 ハンドカウンター等による計測（大型車、小型車の2車種分類）及び関連資料（駐車場管理資料等）の整理による方法とした。</p> <p>【自動車交通量の状況】 交通量はハンドカウンター等による計測（大型車、小型車の2車種分類）とした。走行速度は任意の2点間の移動距離にかかった時間をストップウォッチにより計測して走行速度を求めた。</p> <p>【道路の状況】 現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。</p>	<p>【設備稼働の状況】 現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。</p>
	環境保全のための措置の実施状況	<p>現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。</p>		



凡 例

-  : 計画地
-  : J R中央線
-  : 京王高尾線
-  : 入庫経路 (関連車両)
-  : 出庫経路 (関連車両)
- A, B : 駐車場利用車両の走行に伴う騒音調査地点
- C : 設備の稼働に伴う騒音調査地点
- D : 保全対象 (マンション) 騒音調査地点
- E : 保全対象 (東浅川小学校) 騒音調査地点
- 1~5 : 関連車両の走行に伴う騒音・振動・交通量調査地点
- : 関連車両調査地点 (出入口)



©ミッドマップ東京

図 7.2-1 騒音・振動調査地点位置図 (工事の完了後: 現地調査)

7.2.4 調査結果

(1) 駐車場利用車両の走行及び設備の稼働に伴う騒音

ア 予測した事項

①騒音

等価騒音レベルの調査結果は、表 7.2-3 に示すとおりであり、地点 C 及び地点 E で環境基準等を上回っていた。

地点 C は近隣の工場騒音の定常的な影響であり、地点 E については隣接する小学校のグラウンド利用の声等、鉄道騒音や本事業の空調機室外機の影響があった。影響を低減するため、空調室外機について運用面で稼働時間を短縮する対策を行い、追加調査した結果は表 7.2-3 下欄に示すとおり、休日の昼間が小学校グラウンド利用の児童の声等による超過が見られたが、その他の時間帯については環境基準等を下回っていた。

騒音レベル (L_{A5}) の調査結果は、表 7.2-4 に示すとおりであり、設備騒音以外の道路交通騒音や鉄道騒音等の影響により、多くの時間帯で「環境確保条例」に基づく工場及び指定作業場に係る騒音の規制基準を上回っている。設備騒音は定常騒音であるため、観測された低い騒音レベル (L_{A95}) (表 7.2-5 参照) をみると、地点 E が規制基準を上回っていたが、上記の対策により規制基準を下回っていた。

表 7.2-3 等価騒音レベル (L_{Aeq}) の調査結果

地点 (地上高さ)	時間帯	調査結果 (dB)		環境基準等
		平日	休日	
A (1.2m)	昼間	53	53	60 (一般環境)
	夜間	47	48	50 (一般環境)
B (1.2m)	昼間	64	63	65 (道路沿道)
	夜間	59	60	60 (道路沿道)
C (1.2m)	昼間	54	53	60 (一般環境)
	夜間	52	52	50 (一般環境)
D (1.2m)	昼間	54	54	60 (一般環境)
	夜間	46	47	50 (一般環境)
D (4.0m)	昼間	56	56	60 (一般環境)
	夜間	49	50	50 (一般環境)
D (15.4m・屋上)	昼間	53	53	60 (一般環境)
	夜間	47	48	50 (一般環境)
E (1.2m)	昼間	58	56	55 (学校衛生基準)
	夜間	51	56	50 (一般環境)
E (4.0m)	昼間	60	57	55 (学校衛生基準)
	夜間	53	56	50 (一般環境)

(追加調査)

E (1.2m)	昼間	53	55	55 (学校衛生基準)
	夜間	48	48	50 (一般環境)
E (4.0m)	昼間	54	57	55 (学校衛生基準)
	夜間	49	49	50 (一般環境)

注 1. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

2. 網掛けは環境基準等を上回っていることを示す。

表 7.2-4 騒音レベル (L_{A5}) の調査結果

地点 (地上高さ)	時間帯	調査結果 (dB)		環境確保条例の 規制基準
		平日	休日	
A (1.2m)	朝	57	57	55
	昼間	57	58	60
	夕	57	56	55
	夜間	47	48	50
B (1.2m)	朝	71	68	55
	昼間	69	69	60
	夕	69	68	55
	夜間	65	66	50
C (1.2m)	朝	56	56	55
	昼間	56	55	60
	夕	54	54	55
	夜間	52	53	50
D (1.2m)	朝	57	57	55
	昼間	59	59	60
	夕	57	56	55
	夜間	46	47	50
D (4.0m)	朝	60	60	55
	昼間	62	62	60
	夕	59	59	55
	夜間	49	49	50
D (15.4m・屋上)	朝	57	56	55
	昼間	57	57	60
	夕	57	56	55
	夜間	48	49	50
E (1.2m)	朝	58	59	50
	昼間	61	59	55
	夕	57	58	50
	夜間	54	57	45
E (4.0m)	朝	60	60	50
	昼間	64	60	55
	夕	59	60	50
	夜間	55	57	45

(追加調査)

E (1.2m)	朝	56	56	50
	昼間	56	59	55
	夕	56	56	50
	夜間	52	52	45
E (4.0m)	朝	58	57	50
	昼間	58	61	55
	夕	58	57	50
	夜間	53	53	45

注 1. 朝：6～8時、昼間：8～20時、夕：20～23時、夜間：23～6時
 2. 網掛けは規制基準を上回っていることを示す。

表 7.2-5 騒音レベル (L_{A95}) の調査結果

地点 (地上高さ)	時間帯	調査結果 (dB)		環境確保条例の 規制基準
		平日	休日	
A (1.2m)	朝	44	44	55
	昼間	47	48	60
	夕	46	46	55
	夜間	42	43	50
B (1.2m)	朝	47	44	55
	昼間	53	52	60
	夕	48	47	55
	夜間	38	39	50
C (1.2m)	朝	52	52	55
	昼間	52	52	60
	夕	52	52	55
	夜間	51	51	50
D (1.2m)	朝	44	43	55
	昼間	48	48	60
	夕	45	46	55
	夜間	40	41	50
D (4.0m)	朝	45	44	55
	昼間	49	49	60
	夕	47	47	55
	夜間	42	42	50
D (15.4m・屋上)	朝	46	45	55
	昼間	49	48	60
	夕	45	46	55
	夜間	41	42	50
E (1.2m)	朝	50	55	50
	昼間	51	52	55
	夕	50	51	50
	夜間	49	54	45
E (4.0m)	朝	51	55	50
	昼間	52	53	55
	夕	51	52	50
	夜間	50	54	45

(追加調査)

E (1.2m)	朝	44	41	50
	昼間	49	49	55
	夕	45	46	50
	夜間	39	40	45
E (4.0m)	朝	44	42	50
	昼間	50	50	55
	夕	47	47	50
	夜間	40	41	45

注 1. 朝：6～8時、昼間：8～20時、夕：20～23時、夜間：23～6時

2. 網掛けは規制基準を上回っていることを示す。

イ 予測条件の状況

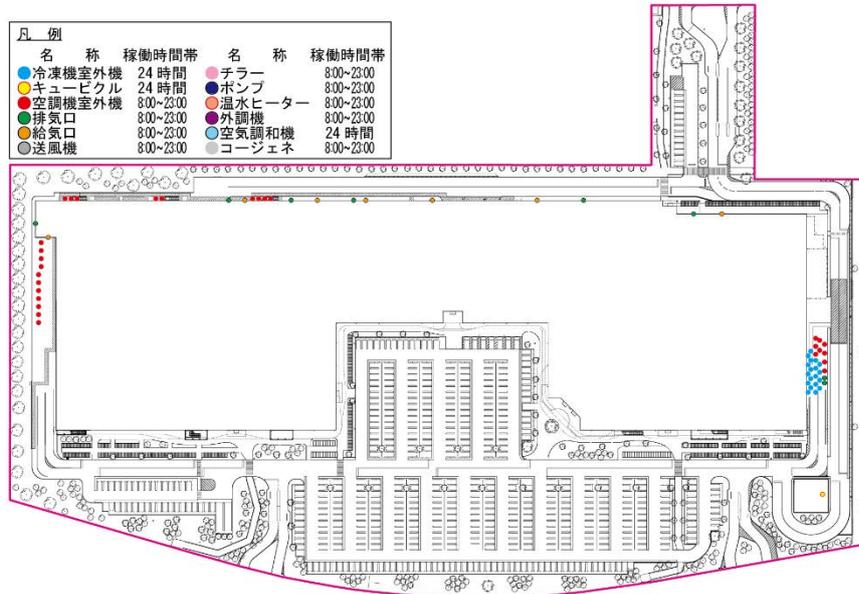
① 駐車場利用車両の状況

駐車場利用車両の状況は「1. 大気汚染」に示したとおりである (p. 48 参照)。

②設備稼働の状況

設備の稼働位置は図 7.2-2 に示すとおりである。

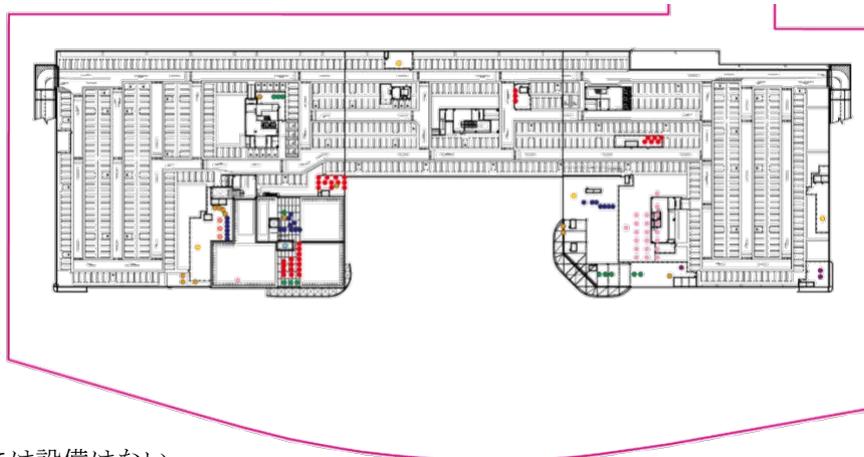
【1階】



【3階】



【R階】



※2階には設備はない。

図 7.2-2 設備の稼働位置

(2) 関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動

ア 予測した事項

①騒音

道路交通騒音レベル (L_{Aeq}) の調査結果は表 7.2-6 に示すとおりである。

地点 No. 2 の夜間において、環境基準を上回っていた。

表 7.2-6 道路交通騒音レベル (L_{Aeq}) の調査結果

地点	時間区分	調査結果 (dB)		環境基準
		平日	休日	
No. 1	昼間	65	65	65 (C)
	夜間	60	60	60 (C)
No. 2	昼間	68	67	70 (近接)
	夜間	66	66	65 (近接)
No. 3	昼間	68	67	70 (近接)
	夜間	64	63	65 (近接)
No. 4	昼間	60	60	65 (C)
	夜間	50	51	60 (C)
No. 5	昼間	65	65	65 (C)
	夜間	60	60	60 (C)

注 1. 環境基準類型

C : C 類型の 2 車線以上の車線を有する道路

近接 : 幹線交通を担う道路に近接する空間

注 2. 網掛けは規制基準を上回っていることを示す。

②振動

道路交通振動レベル (L_{10}) の調査結果は表 7.2-7 に示すとおりである。

調査結果は「環境確保条例」に基づく日常生活等に適用する規制基準を下回っていた。

表 7.2-7 道路交通振動レベル (L_{10}) の調査結果

地点	時間区分	調査結果 (dB)		規制基準
		平日	休日	
No. 1	昼間	46 (44~49)	45 (43~47)	65
	夜間	37 (30~48)	37 (30~44)	60
No. 2	昼間	30 (30~31)	30 (30)	60
	夜間	30 (30~31)	30 (30)	55
No. 3	昼間	47 (43~49)	40 (39~41)	60
	夜間	38 (32~48)	34 (30~39)	55
No. 4	昼間	45 (43~47)	45 (39~49)	65
	夜間	33 (30~44)	33 (30~42)	60
No. 5	昼間	42 (41~45)	41 (40~42)	65
	夜間	34 (30~44)	35 (30~40)	60

注 1. 規制基準

No. 2, 3 : 第 1 種区域 昼間 8~19 時、夜間 19~8 時

No. 1, 4, 5 : 第 2 種区域 昼間 8~20 時、夜間 20~8 時

注 2. 調査結果は、各時間の L_{10} の算術平均値を示し、() 内はその変動幅を示す。

イ 予測条件の状況

①道路の状況

道路の状況は表 7.2-8 及び図 7.2-3 に示すとおりであり、評価書における予測条件と同様であった。

表 7.2-8 道路の状況

調査地点	車線数	舗装状況
No. 1	2 車線	密粒舗装
No. 2	2 車線	排水性舗装
No. 3	2 車線	排水性舗装
No. 4	2 車線	密粒舗装
No. 5	2 車線	密粒舗装

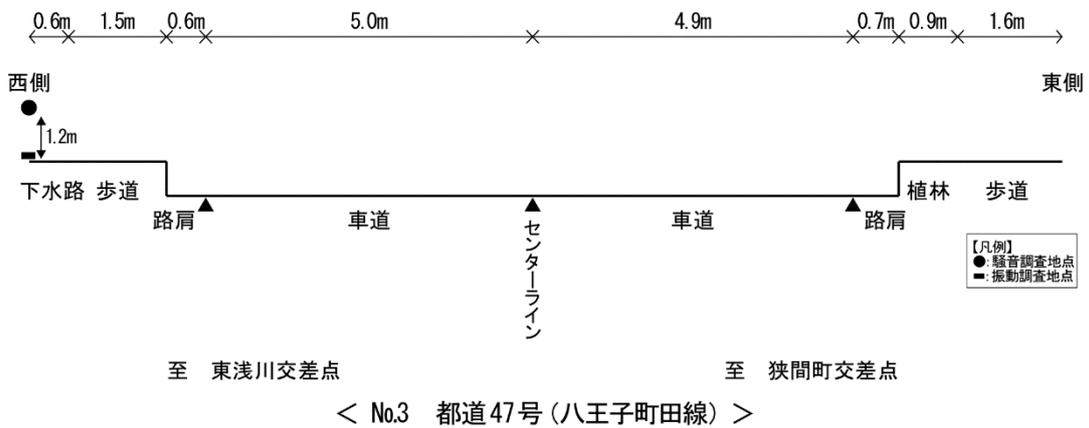
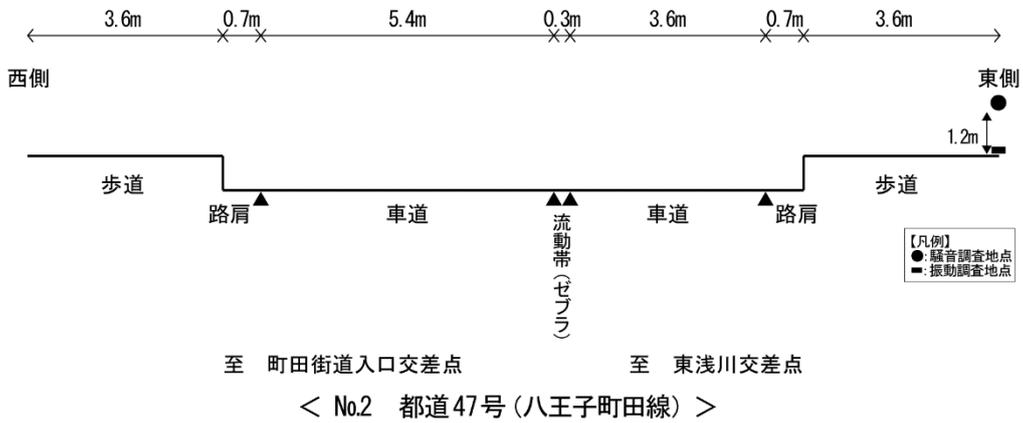
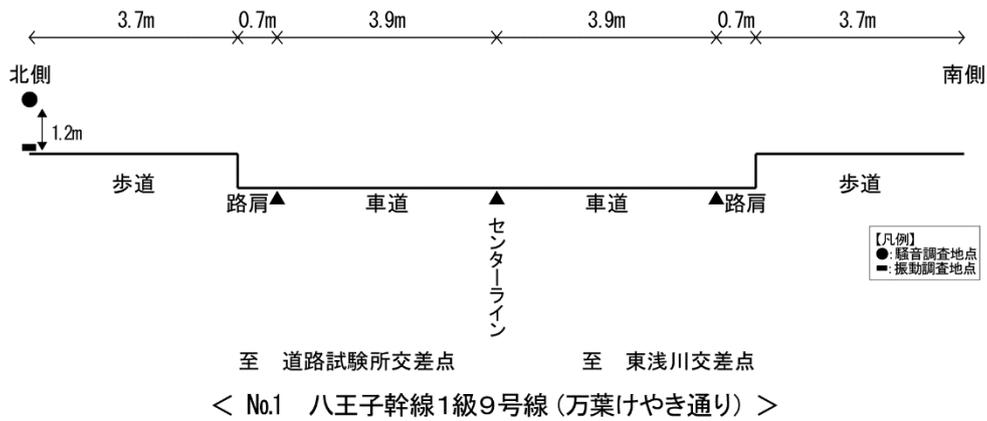


図 7.2-3(1) 道路断面

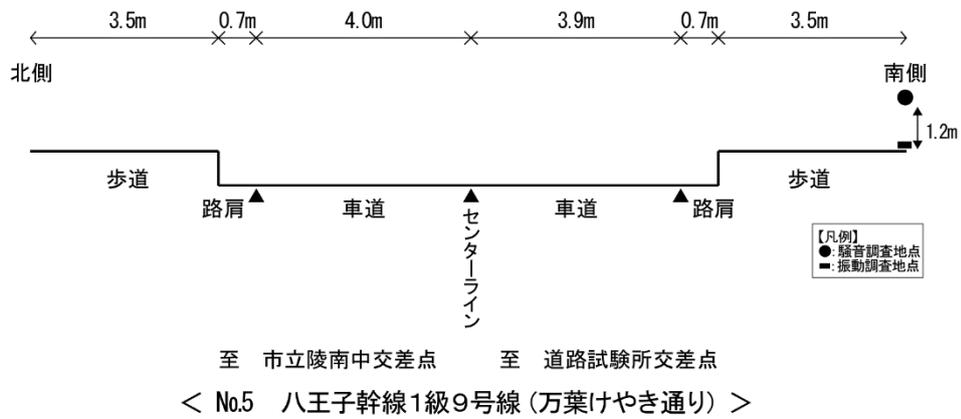
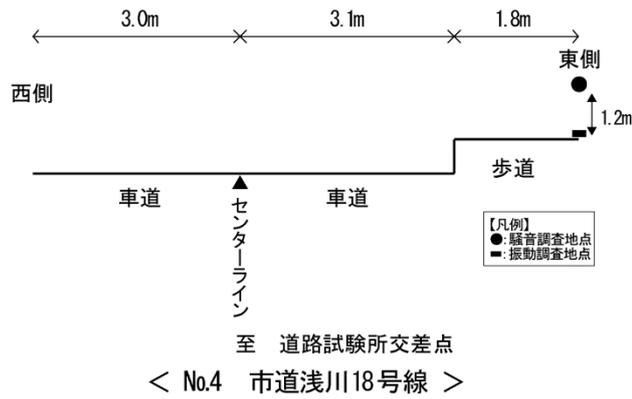


図 7.2-3(2) 道路断面

②関連車両の状況

調査結果は、「7.1 大気汚染」に示したとおりである。(p. 48 参照)。

③一般車両の状況

調査結果は、「7.1 大気汚染」に示したとおりである。(p. 54 参照)。

ウ 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 6.2-1 に示したとおりである (p. 27 参照)。

7.2.5 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 駐車場利用車両の走行及び設備の稼働に伴う騒音

調査地点における予測結果と事後調査結果との比較は表 7.2-9～11 に示すとおりである。

等価騒音レベルの予測結果と事後調査結果はほぼ同程度であるが、地点Cは隣接する工場騒音、地点D・Eは周辺のマンション・戸建住宅や本施設による鉄道騒音の反射音によって暗騒音が増えたことにより予測結果を上回る時間帯があった。なお、地点Eの休日の昼間は小学校グラウンド利用の児童の声等により予測結果を上回っていた。

騒音レベル最大値は、暗騒音の影響により予測結果及び規制基準を上回ったが、騒音レベル(LA95)は規制基準を下回っている。定常騒音の設備機器による騒音は規制基準を下回っており、予測結果と同様であると考えられる。

表 7.2-9 予測結果との比較（駐車場利用車両の走行：等価騒音レベル）

地点（地上高さ）	区分	時間帯	等価騒音レベル（dB）		環境基準等
			予測結果	事後調査結果	
A（1.2m）	平日	昼間	58	53	60（一般環境）
		夜間	—	47	50（一般環境）
	休日	昼間	57	53	60（一般環境）
		夜間	—	48	50（一般環境）
B（1.2m）	平日	昼間	—	64	65（道路沿道）
		夜間	63	59	60（道路沿道）
	休日	昼間	—	63	65（道路沿道）
		夜間	61	60	60（道路沿道）

注 1. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

表 7.2-10(1) 予測結果との比較（設備の稼働：等価騒音レベル）

地点（地上高さ）	区分	時間帯	等価騒音レベル（dB）		環境基準等
			予測結果	事後調査結果	
C（1.2m）	平日	昼間	53	54	60（一般環境）
		夜間	50	52	50（一般環境）
	休日	昼間	52	53	60（一般環境）
		夜間	50	52	50（一般環境）

注 1. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

2. 網掛けは環境基準等を上回っていることを示す。

表 7.2-10(2) 予測結果との比較（設備の稼働：騒音レベル最大値）

地点 （地上高さ）	区分	時間帯	予測結果	事後調査結果		規制基準
			騒音レベル 最大値（dB）	騒音レベル (LA5)（dB）	騒音レベル (LA95)（dB）	
C（1.2m）	平日	朝	38	56	52	55
		昼間	49	56	52	60
		夕	49	54	52	55
		夜間	38	52	51	50
	休日	朝	38	56	52	55
		昼間	49	55	52	60
		夕	49	54	52	55
		夜間	38	53	51	50

注 1. 朝：6～8 時、昼間：8～20 時、夕：20～23 時、夜間：23～6 時

2. 網掛けは規制基準を上回っていることを示す。

表 7.2-11(1) 予測結果との比較 (保全対象：等価騒音レベル)

地点 (地上高さ)	区分	時間帯	等価騒音レベル (dB)		環境基準等
			予測結果	事後調査結果	
D (1.2m)	平日	昼間	58	54	60 (一般環境)
		夜間	44	46	50 (一般環境)
	休日	昼間	57	54	60 (一般環境)
		夜間	42	47	50 (一般環境)
D (4.0m)	平日	昼間	58	56	60 (一般環境)
		夜間	44	49	50 (一般環境)
	休日	昼間	57	56	60 (一般環境)
		夜間	42	50	50 (一般環境)
D (15.4m・屋上)	平日	昼間	58	53	60 (一般環境)
		夜間	46	47	50 (一般環境)
	休日	昼間	58	53	60 (一般環境)
		夜間	44	48	50 (一般環境)
E (1.2m)	平日	昼間	53	53	55 (学校衛生基準)
		夜間	46	48	50 (一般環境)
	休日	昼間	54	55	55 (学校衛生基準)
		夜間	45	48	50 (一般環境)
E (4.0m)	平日	昼間	54	54	55 (学校衛生基準)
		夜間	46	49	50 (一般環境)
	休日	昼間	54	57	55 (学校衛生基準)
		夜間	45	49	50 (一般環境)

- 注 1. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時
 2. 網掛けは環境基準等を上回っていることを示す。
 3. 地点 E は追加調査の結果である。

【参考】建設前後の騒音比較 (評価書の地点 B (上図) と事後調査地点 D (下図) の比較)

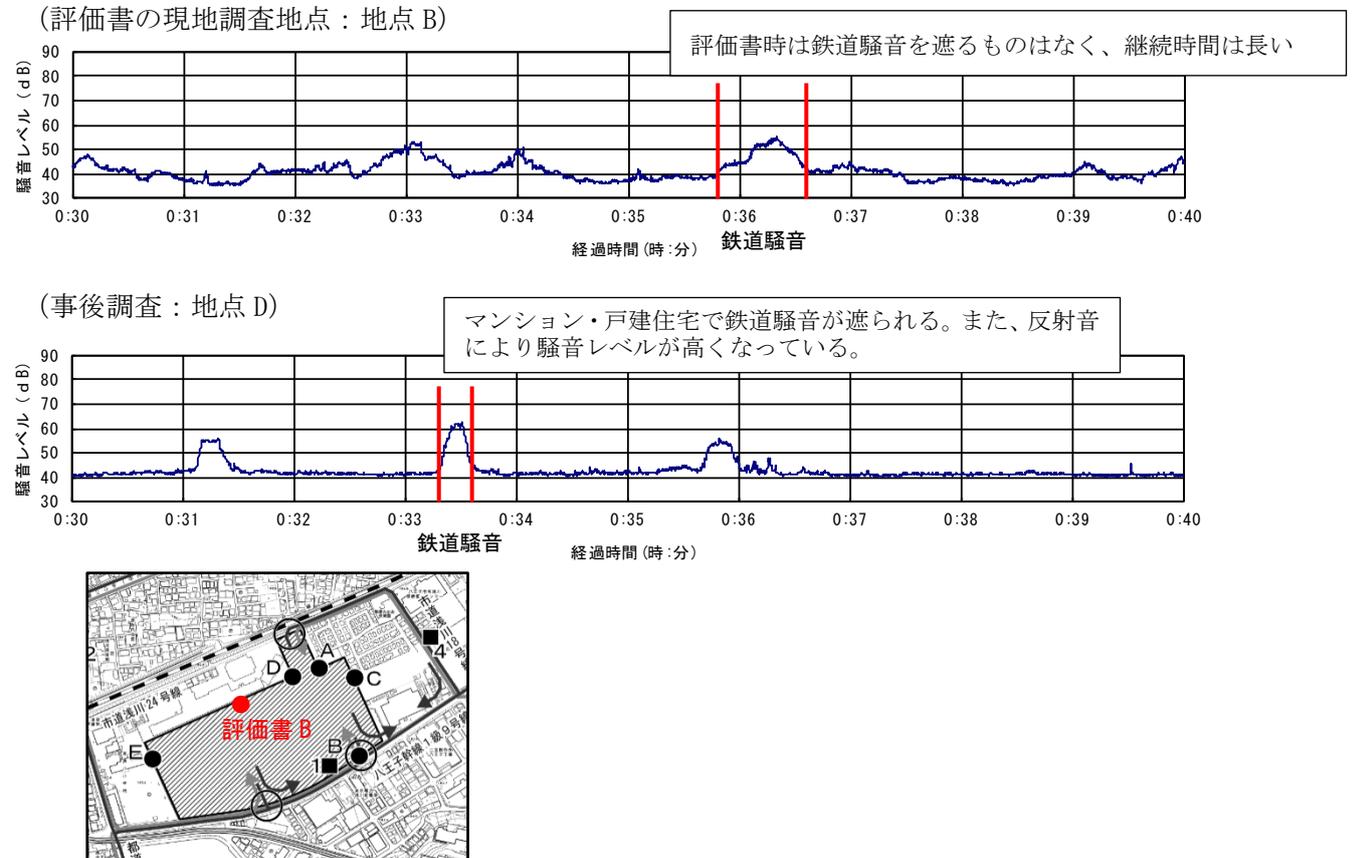


表 7.2-11(2) 予測結果との比較（保全対象：騒音レベル最大値）

地点 (地上高さ)	区分	時間帯	予測結果	事後調査結果		規制基準
			騒音レベル 最大値 (dB) ※暗騒音は考 慮していない	騒音レベル (LA5) (dB)	騒音レベル (LA95) (dB)	
D (1.2m)	平日	朝	30 未満	57	44	55
		昼間	31	59	48	60
		夕	31	57	45	55
		夜間	30 未満	46	40	50
	休日	朝	30 未満	57	43	55
		昼間	31	59	48	60
		夕	31	56	46	55
D (4.0m)	平日	朝	30 未満	60	45	55
		昼間	34	62	49	60
		夕	34	59	47	55
		夜間	30 未満	49	42	50
	休日	朝	30 未満	60	44	55
		昼間	34	62	49	60
		夕	34	59	47	55
D (15.4m・ 屋上)	平日	朝	30 未満	57	46	55
		昼間	48	57	49	60
		夕	48	57	45	55
		夜間	30 未満	48	41	50
	休日	朝	30 未満	56	45	55
		昼間	48	57	48	60
		夕	48	56	46	55
E (1.2m)	平日	朝	30 未満	56	44	50
		昼間	41	56	49	55
		夕	41	56	45	50
		夜間	30 未満	52	39	45
	休日	朝	30 未満	56	41	50
		昼間	41	59	49	55
		夕	41	56	46	50
E (4.0m)	平日	朝	30 未満	58	44	50
		昼間	42	58	50	55
		夕	42	58	47	50
		夜間	30 未満	53	40	45
	休日	朝	30 未満	57	42	50
		昼間	42	61	50	55
		夕	42	57	47	50
休日	夜間	30 未満	53	41	45	

注 1. 朝：6～8 時、昼間：8～20 時、夕：20～23 時、夜間：23～6 時

2. 網掛けは規制基準を上回っていることを示す。

3. 地点 E は追加調査の結果である。

(2) 関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動

① 騒音

関連車両の走行に伴う騒音の予測結果と事後調査結果との比較は表 7.2-12 に、予測条件（自動車交通量）と事後調査時の状況との比較は表 7.2-13 に示すとおりである。

事後調査結果は予測結果と同程度又は下回っていた。予測条件とした走行台数よりも事後調査結果の走行台数が少なくなっていることによるものと考えられる。

表 7.2-12(1) 評価書の予測結果と事後調査結果の比較（道路交通騒音：平日）

調査地点 (予測地点)	時間区分	等価騒音レベル (dB)		
		予測結果	事後調査	評価の指標 (環境基準)
No. 1	昼間	69	65	65 (C)
	夜間	64	60	60 (C)
No. 2	昼間	72	68	70 (近接)
	夜間	69	66	65 (近接)
No. 3	昼間	68	68	70 (近接)
	夜間	63	64	65 (近接)
No. 4	昼間	62	60	65 (C)
	夜間	55	50	60 (C)
No. 5	昼間	69	65	65 (C)
	夜間	62	60	60 (C)

注 1. 網掛けは環境基準を上回っていることを示す。

2. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

表 7.2-13(1) 予測条件との比較（交通量：平日）

調査地点	時間区分	予測条件 (台)			事後調査結果 (台)		
		大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
No. 1	昼間	808	12,692	13,500	493	8,888	9,381
	夜間	64	726	790	53	434	487
	合計	872	13,418	14,290	546	9,322	9,868
No. 2	昼間	2,864	20,240	23,104	2,046	17,141	19,187
	夜間	407	1,493	1,900	342	1,291	1,633
	合計	3,271	21,733	25,004	2,388	18,432	20,820
No. 3	昼間	3,288	17,830	21,118	2,566	15,253	17,819
	夜間	402	1,656	2,058	350	1,462	1,812
	合計	3,690	19,486	23,176	2,916	16,715	19,631
No. 4	昼間	140	3,758	3,898	129	2,216	2,345
	夜間	2	57	59	1	94	95
	合計	142	3,815	3,957	130	2,310	2,440
No. 5	昼間	616	14,236	14,852	539	8,923	9,462
	夜間	62	754	816	59	551	610
	合計	678	14,990	15,668	598	9,474	10,072

注. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

表 7.2-12(2) 評価書の予測結果と事後調査結果の比較（道路交通騒音：休日）

調査地点 (予測地点)	時間区分	等価騒音レベル (dB)		
		予測結果	事後調査	評価の指標 (環境基準)
No. 1	昼間	69	65	65 (C)
	夜間	62	60	60 (C)
No. 2	昼間	72	67	70 (近接)
	夜間	68	66	65 (近接)
No. 3	昼間	67	67	70 (近接)
	夜間	61	63	65 (近接)
No. 4	昼間	61	60	65 (C)
	夜間	50	51	60 (C)
No. 5	昼間	69	65	65 (C)
	夜間	62	60	60 (C)

注 1. 網掛けは環境基準を上回っていることを示す。

2. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

表 7.2-13(2) 予測条件との比較（交通量：休日）

調査地点	時間区分	予測条件 (台)			事後調査結果 (台)		
		大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
No. 1	昼間	528	14,391	14,919	248	8,332	8,580
	夜間	30	633	663	40	544	584
	合計	558	15,024	15,582	288	8,876	9,164
No. 2	昼間	721	21,947	22,668	500	16,269	16,769
	夜間	141	1,536	1,677	130	1,422	1,552
	合計	862	23,483	24,345	630	17,691	18,321
No. 3	昼間	1,003	19,376	20,379	741	15,137	15,878
	夜間	129	1,682	1,811	126	1,706	1,832
	合計	1,132	21,058	22,190	867	16,843	17,710
No. 4	昼間	120	5,233	5,353	132	2,162	2,294
	夜間	1	48	49	1	97	98
	合計	121	5,281	5,402	133	2,259	2,392
No. 5	昼間	373	16,723	17,096	261	9,517	9,778
	夜間	29	636	665	48	561	609
	合計	402	17,359	17,761	309	10,078	10,387

注. 昼間：6～22 時、夜間：22～6 時

②振動

関連車両の走行に伴う振動の予測結果と事後調査結果との比較は表 7.2-14 に、予測条件（自動車交通量）と事後調査時の状況との比較は表 7.2-15 に示すとおりである。

平日の事後調査結果は No. 1 及び No. 4 は予測結果を上回り、その他の地点は予測結果と同程度又は下回っていた。No. 1 及び No. 4 は予測条件とした走行台数よりも事後調査結果の走行台数が少なくなっていることから、アスファルト舗装の劣化などの影響が考えられる。

休日の事後調査結果は No. 4 は予測結果を上回り、その他の地点は予測結果と同程度又は下回っていた。No. 4 は予測条件とした走行台数よりも事後調査結果の走行台数が少なくなっていることから、アスファルト舗装の劣化などの影響が考えられる。

表 7.2-14(1) 評価書の予測結果と事後調査結果の比較（道路交通振動：平日）

(単位：dB)

調査地点 (予測地点)	区域区分	時間区分	予測結果		事後調査結果		評価の指標 (規制基準)
			振動レベルが最大となる時間帯	振動レベル(L ₁₀)	振動レベルが最大となる時間帯	振動レベル(L ₁₀)	
No. 1	第 2 種	昼間	10 時台	46	8 時台	49	65
		夜間	7 時台	44	7 時台	48	60
No. 2	第 1 種	昼間	11 時台	33	9 時台	31	60
		夜間	6 時台	32	6 時台	31	55
No. 3	第 1 種	昼間	9 時台	51	11 時台	49	60
		夜間	6 時台	48	7 時台	48	55
No. 4	第 2 種	昼間	10 時台	39	16 時台	47	65
		夜間	20 時台	33	7 時台	44	60
No. 5	第 2 種	昼間	11 時台	48	8 時台	45	65
		夜間	7 時台	44	7 時台	44	60

表 7.2-15(1) 予測条件の比較（自動車交通量：平日）

調査地点	時間区分	予測条件 (台/時)				事後調査結果 (台/時)			
		時間帯	大型車	小型車	計	時間帯	大型車	小型車	計
No. 1	昼間	10 時台	78	852	930	8 時台	51	396	447
	夜間	7 時台	67	405	472	7 時台	46	351	397
No. 2	昼間	11 時台	304	1,397	1,701	9 時台	202	1,068	1,270
	夜間	6 時台	214	617	831	6 時台	178	627	805
No. 3	昼間	9 時台	360	1,105	1,465	11 時台	221	928	1,149
	夜間	6 時台	223	672	895	7 時台	189	1,195	1,384
No. 4	昼間	10 時台	20	289	309	16 時台	9	207	216
	夜間	20 時台	2	165	167	7 時台	11	121	132
No. 5	昼間	11 時台	53	1,134	1,187	8 時台	55	389	444
	夜間	7 時台	58	391	449	7 時台	45	325	370

表 7.2-14(2) 評価書の予測結果と事後調査結果の比較（道路交通振動：休日）

(単位：dB)

調査地点 (予測 地点)	区域 区分	時間 区分	予測結果		事後調査結果		評価の指標 (規制基準)
			振動レベルが 最大となる 時間帯	振動レベル (L ₁₀)	振動レベルが 最大となる 時間帯	振動レベル (L ₁₀)	
No. 1	第 2 種	昼間	12 時台	46	8 時台	47	65
		夜間	6 時台	43	7 時台	44	60
No. 2	第 1 種	昼間	17 時台	32	8 時台	30	60
		夜間	6 時台	32	21 時台	30	55
No. 3	第 1 種	昼間	8 時台	44	8 時台	41	60
		夜間	7 時台	40	7 時台	39	55
No. 4	第 2 種	昼間	10 時台	40	17 時台	49	65
		夜間	20 時台	33	20 時台	42	60
No. 5	第 2 種	昼間	17 時台	47	16 時台	42	65
		夜間	20 時台	44	7 時台	40	60

表 7.2-15(2) 予測条件の比較（自動車交通量：休日）

調査 地点	時間 区分	予測条件 (台/時)				事後調査結果 (台/時)			
		時間帯	大型車	小型車	計	時間帯	大型車	小型車	計
No. 1	昼間	12 時台	27	1,183	1,210	8 時台	34	257	291
	夜間	6 時台	56	81	137	7 時台	12	175	187
No. 2	昼間	17 時台	44	1,796	1,840	8 時台	48	892	940
	夜間	6 時台	51	339	390	21 時台	23	478	501
No. 3	昼間	8 時台	90	888	978	8 時台	65	902	967
	夜間	7 時台	57	655	712	7 時台	55	640	695
No. 4	昼間	10 時台	20	427	447	17 時台	6	235	241
	夜間	20 時台	2	171	173	20 時台	4	85	89
No. 5	昼間	17 時台	21	1,581	1,602	16 時台	9	894	903
	夜間	20 時台	12	831	843	7 時台	14	183	197